

第6回街づくり検討会を行いました。

平成31年3月25日（月）に第6回街づくり検討会を開催し、該当地区内に土地または建物の権利をお持ちの方16名（出席者21名）にご参加いただきました。

引き続き、早稲田大学の卯月盛夫教授にご参加いただき、前回のご意見をもとに作成した卯月先生のご提案をたたき台として、具体的な交通計画案について、意見交換（ワークショップ）を行いました。



＜第7回街づくり検討会の様子＞

みなさんのご意見を踏まえて作成した、卯月教授の交通計画案をもとに、意見交換（ワークショップ）を行いました！

※検討会参加者のご意見（第5回）

図 交通課題の改善案



※平成31年2月27日第5回検討会における意見を基にコンサルタントがまとめたものです。

3つの班に分かれて行った意見交換(ワークショップ)の概要

第5回検討会では、カトリア通り、メイプル通りの「バスと歩行者のすれ違い」や、交通量の多い「学園通り」の問題に対し、バスルートを改善するご意見を多くいただきました。(表面をご参照ください)

これを受け、第6回検討会では、卯月先生のご提案により、将来のバスルートを複数案設定し、具体的な交通計画案について意見交換しました。



いただいた主なご意見 (一部抜粋)

意見交換(ワークショップ)の中でいただいたご意見の一部を抜粋してご紹介します。別紙「いただいたご意見等の概要」を同封しておりますので、あわせてご覧ください。

A案 バスルート：補助127号線(相互通行)に集約

- 街全体のことを考えると、交通をいろいろな通りに分散させるよりは、カトリア通りに自動車交通を集中させた方がよいと思う。
- 地区内の自動車交通がスムーズになり、学園通り等の交通が整理されることがメリットになると思う。
- カトリア通りを相互通行にすると、すすかけ通りとの交差点の交通量が増え、渋滞などが心配。



B-1案 バスルート：補助127号線(一方通行)→メイプル通り 【現在と同じルート】

- 現状のまま、バスを通すと、学園通りとの交差点の危険が解消されない。新たに都市計画決定が必要となり非現実的。

B-2案 バスルート：補助127号線(一方通行)→ヒロ通り

- ヒロ通りをバスルートに関係なく自動車が通行しやすいように拡幅すべきだ。駅前からヒロ通りを抜けて学園通りを左折し、環八方面へ行きやすくなる。
- 新たな都市計画決定や、大井町線が地下化されないと、非現実的。



次回検討会について

■ 日時：5月9日(木) 16時00分～18時00分

■ 場所：野村證券自由が丘支店 地下セミナーホール

詳細については、後日改めて『第7回検討会のご案内』をお送りします。

皆様のご参加お待ちしております。



～自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会に関する問い合わせは下記にお願いいたします～



【問合せ先】自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会事務局

目黒区 街づくり推進部 地区整備課

担当：石井・藤倉・大谷内 電話：03-5722-9430